

東京理科大学久喜キャンパス跡地の活用計画

平成28年11月

久喜市

目 次

1 活用計画策定の目的	1
2 理科大跡地の概要	1
(1) 土地・建物	1
(2) 交通	1
3 活用にあたっての基本的考え方	2
(1) 東京理科大学の誘致までの経緯	2
(2) 地域コミュニティと賑わいの創出	2
(3) 本市の将来への課題対応	2
(4) 久喜市公共施設等総合管理計画の推進	2
4 理科大跡地の活用計画	3
(1) 敷地の活用計画	3
① 学校給食センター建設用地の確保	3
② A棟の解体・撤去	3
(2) 建物の活用計画	3
■ 久喜市子育て教育センター	
① 久喜西児童館・子育て支援センターの新設配置	3
② 教育センターの新設配置	3
③ 市民ギャラリーの新設配置	4
④ こども図書館の新設配置	4
⑤ 教育委員会事務局の移転	4
■ 久喜市生涯学習センター	
① 生涯学習センターの新設配置	4
(3) 施設利用者のための公共交通等	4
5 公共施設アセットマネジメント(施設の統廃合)	5
6 活用計画の整備目標	5
7 概算事業費	6
8 活用計画図面集	7
I 全体平面図	7
II 校舎棟1階平面図	8
III 校舎棟2階平面図	9
IV 校舎棟3階平面図	10
V 特別教室棟平面図	11

1 活用計画策定の目的

東京理科大学経営学部久喜キャンパスは、平成5年4月の開校以来23年にわたり、本市における人材育成、教育・文化水準の向上に重要な役割を果たしてきたが、近年の少子化の進行に伴う受験者の確保等を理由に、平成28年4月より経営学部を久喜キャンパスから神楽坂キャンパスへ全面移転をした。

東京理科大学は全面移転にあたり、久喜キャンパス(136,507.4 m²)の約4割の土地と、その土地に立地する建物を本市に無償譲渡した。

このため、本市では東京理科大学久喜キャンパス跡地(以下「理科大跡地」という。)について、地域住民のみならず久喜市民のために早期に有効活用を図ることを目的として、理科大跡地の土地及び建物についての基本的な全体の活用計画を策定した。

本活用計画の策定にあたっては、市民アイデア募集やパブリックコメント及び市議会の議論等を踏まえるとともに、本市を取り巻く様々な状況等を勘案して策定した。

2 理科大跡地の概要

(1) 土地・建物

所在地	久喜市下清久500番1	
地域地区等	市街化調整区域、建ぺい率60%、容積率200%	
敷地面積	53,088.00 m ²	
建物概要	A棟	鉄筋コンクリート造(3F) 2,368.26 m ² H5 築
	B棟	鉄筋コンクリート造(3F) 3,122.82 m ² H5 築
	C棟	鉄筋コンクリート造(3F) 2,188.26 m ² H5 築
	D棟	鉄筋コンクリート造(2F) 1,239.60 m ² H5 築
	E棟	鉄筋コンクリート造(2F) 1,004.85 m ² H5 築
	F棟	鉄筋コンクリート造(2F) 1,230.60 m ² H5 築
		特別教室棟
	建物延べ床面積の合計 13,492.14 m ²	
その他	守衛所等、備品一式	

(2) 交通

公共交通機関として、久喜駅から理科大正門前まで(約3Km)を、民間路線バスが上下線合わせて平日1日78本・土日祝日53本、久喜市市内循環バスが1日5本(日・祝・年末年始は運休)運行されている。

3 活用に当たっての基本的考え方

(1) 東京理科大学の誘致までの経緯

東京理科大学経営学部久喜キャンパスは、合併前の久喜市において高等教育機関の充実のために積極的な誘致を図ったものであり、そうした市の教育環境、文化環境の向上への考え方に対する地域住民の理解と協力によって新設されたものであることを考慮する必要がある。

(2) 地域コミュニティと賑わいの創出

移転前の久喜キャンパスは、常時約1,000人の学生が集う賑わいのある場所であるとともに、学園祭など大学のイベントには地域住民が積極的に参加するなど交流が行われてきたことに鑑み、今後も賑わいのある地域コミュニティの拠点として維持していく必要がある。

(3) 本市の将来への課題対応

本市は、我が国の総人口の増加とともに人口が増加してきたものの、現在、自然減と社会減の両面から人口減少が進み、少子化・高齢化が進行している。特に20歳代前後の若者を中心とした市外への転出超過の抑制と低い合計特殊出生率の改善が大きな課題となっている。

本市ではそうした現状と課題を踏まえ、若者に選ばれる魅力的なまちづくり、若者の結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくりを進めるため、若い世代の定住促進と人口の社会減の改善、及び合計特殊出生率の向上を図っていく必要がある。

(4) 久喜市公共施設等総合管理計画の推進

本市の公共施設の多くは老朽化が進んでいるが、老朽化対策に要する財源の確保は、少子化・高齢化による人口減少に伴い、税収の増加が見込めないため、厳しい状況である。

そのため本市は、公共施設の最新の状況を把握したうえで、管理する公共建築物やインフラ資産の更新・統廃合・長寿命化などに関する、公共施設等の総合的な管理・運営方針を定めた「久喜市公共施設等総合管理計画」を平成28年3月に策定した。

この計画に基づき、公共建築物については、老朽化した建築物の廃止・重複する機能の統廃合・施設の長寿命化・民間活力の導入、インフラ資産については、適切な維持管理を行い、施設の長寿命化を推進する。

4 理科大跡地の活用計画

理科大跡地については、本市の将来に向けての大きな課題である人口減少・少子化の進行に対応するため、子育て支援並びに教育の充実を主軸とした敷地及び建物の有効活用を図ることで、若い世代に選ばれる魅力的なまちづくりを推進する。

(1) 敷地の活用計画（※施設名は全て仮称）

① 学校給食センター建設用地の確保

理科大跡地の敷地約53,000㎡の有効活用を図るため、敷地東南側の約12,000㎡部分に、新たな学校給食センターの建設用地を確保する。学校給食センターの概略は、市内の全小中学校34校の児童生徒分となる調理能力1日最大12,000食、建築面積約4,500㎡の規模を想定する。

② A棟の解体・撤去

来場者のための駐車場を敷地全体として約300台を確保するため、「I全体平面図」の点線部分で表示しているA棟を解体・撤去し、新たな駐車場を整備する。

(2) 建物の活用計画（※施設名は全て仮称）

■ 久喜市子育て教育センター【B・C・D・E・F棟】

① 久喜西児童館・子育て支援センターの新設配置（B棟1階）

子どもたちに健全な遊びを提供して、その健康を増進し、情操を豊かにするために必要な事業を展開する児童館、並びに子育て家庭の保護者とその子どもを対象に親子の交流の場の提供等を行うことにより、子育てを支援する地域子育て支援センターの機能を有する複合施設を新設配置する。

② 教育センターの新設配置（B棟3階）

一般的な教育センター機能だけではなく、乳幼児期から学齢期までの子育てや発達に関する相談・支援体制を一元的に連携して対応するため、子育て相談機能を有する教育センターを新設配置する。

子育て相談機能としては、乳幼児期からの子育て、しつけ、子どもの発達など、保護者が子育てに対して迷いを感じた時の相談支援体制の整備に取り組む。

教育センター機能としては、児童生徒の学力や体力の問題、就学の問題、いじめ・不登校・非行の問題など、教育をめぐる様々な課題の解決をめざし、「教職員の資質向上」を図るとともに、教育の研究・開発、研修、相談の各事業に積極的に取り組む。

③市民ギャラリーの新設配置(F棟1階)

豊かな芸術文化の発展をめざして、芸術文化鑑賞の機会と団体及び個人の成果を発表する場を提供し、活動意欲の向上を図るため、市民ギャラリーを新設配置する。

④こども図書館の新設配置(E棟1・2階)

幼児が絵本を読みながら親子で学びふれあうことのできる場、及び児童生徒が自主的に学習することができる場を提供することにより、子どもたちが読書の楽しさに触れ自身の可能性を広げられるよう、こども図書館を新設配置する。

⑤教育委員会事務局の移転(B棟2階、D棟1・2階)

当該施設を本市の教育行政の拠点とするため、現在、菖蒲総合支所3階にある教育委員会事務局(教育部)を理科大跡地に移転する。

■久喜市生涯学習センター【特別教室棟】

①生涯学習センターの新設配置(特別教室棟1～3階)

本市の生涯学習の中核を担う施設として、市民の学習や文化芸術活動を支援するとともに、幅広い事業展開や文化芸術・生涯学習の総合的な情報の収集・提供機能の充実を図り、もって人づくり・地域づくりを総合的に推進するため、生涯学習センターを新設配置する。

(3)施設利用者のための公共交通等

本利用計画における各施設の利用者のための交通手段について、現状の民間路線バス及び久喜市市内循環バスを踏まえた施設利用者の交通利便性について検討する。

5 公共施設アセットマネジメント(施設の統廃合)

理科大跡地の校舎等の活用にあたっては、公共施設アセットマネジメントの観点から「久喜市公共施設等総合管理計画（平成28年3月策定）」に基づき、市内公共施設における重複する機能の統廃合により老朽化した建築物の廃止を推進する。

6 活用計画の整備目標

本活用計画における各施設の供用開始目標時期を下記のとおりとする。

- (1) 教育委員会事務局 …………… 平成30年1月供用開始
- (2) 久喜市生涯学習センター …………… 平成31年4月供用開始
- (3) 久喜市子育て教育センター …………… 平成32年4月供用開始

※整備スケジュール

改修工事等は、工期を3期に分けての施工を予定。

- ・第1期工事 … C・D・F棟改修工事
一部供用開始（教育委員会事務局の移転）のための改修工事
 - ・設計（平成28年度）
 - ・改修工事（平成29年度）

- ・第2期工事 … A棟解体工事及び外構工事
 - ・設計（平成28, 29年度）
 - ・解体及び外構工事（平成29年度）

- ・第3期工事 … 特別教室棟及びB・C・D・E・F棟の改修工事
 - 《特別教室棟》
久喜市生涯学習センター設置のための改修工事
 - ・設計（平成29年度）
 - ・改修工事（平成30年度）
 - 《B・C・D・E・F棟》
久喜市子育て教育センター設置のための改修工事
 - ・設計（平成29, 30年度）
 - ・改修工事（平成30, 31年度）

7 概算事業費

工期（工事内容）	種別	概算事業費(円)	施工年度
第1期工事 （C・D・F棟改修工事）	設計	5,928,000	平成28年度
	工事	113,087,000	平成29年度
	監理	5,967,000	
第2期工事 （A棟解体工事）	設計	3,833,000	平成28,29年度
	工事	84,089,000	平成29年度
	監理	540,000	
第2期工事 （外構工事）	測量	2,236,000	平成28年度
	設計	1,920,000	平成28,29年度
	工事	77,424,000	平成29年度
	監理	2,131,000	
第3期工事 （特別教室棟改修工事）	設計	8,008,000	平成29年度
	工事	146,794,000	平成30年度
	監理	7,340,000	
第3期工事 （B棟～F棟改修工事）	設計	18,347,000	平成29,30年度
	工事	387,764,000	平成30,31年度
	監理	15,511,000	
合計		880,919,000	

※ 本事業費は、現時点における活用計画を基に算出した概算金額です。今後、用途に合わせた詳細な設計積算により、金額に変更が生じる場合があります。

※ 本事業費に、新たな学校給食センターの建設費は含まれていません。

◆ 建物の主な用途
(※施設名は全て仮称)

・A棟 … 解体・撤去

久喜市子育て教育センター

・B棟
1F … 久喜西児童館・子育て支援センター
2F … 教育委員会事務局
3F … 教育センター

・C棟
1F … 市民ラウンジ(飲食コーナー)
2F … 教育ホール
3F … 視聴覚ホール

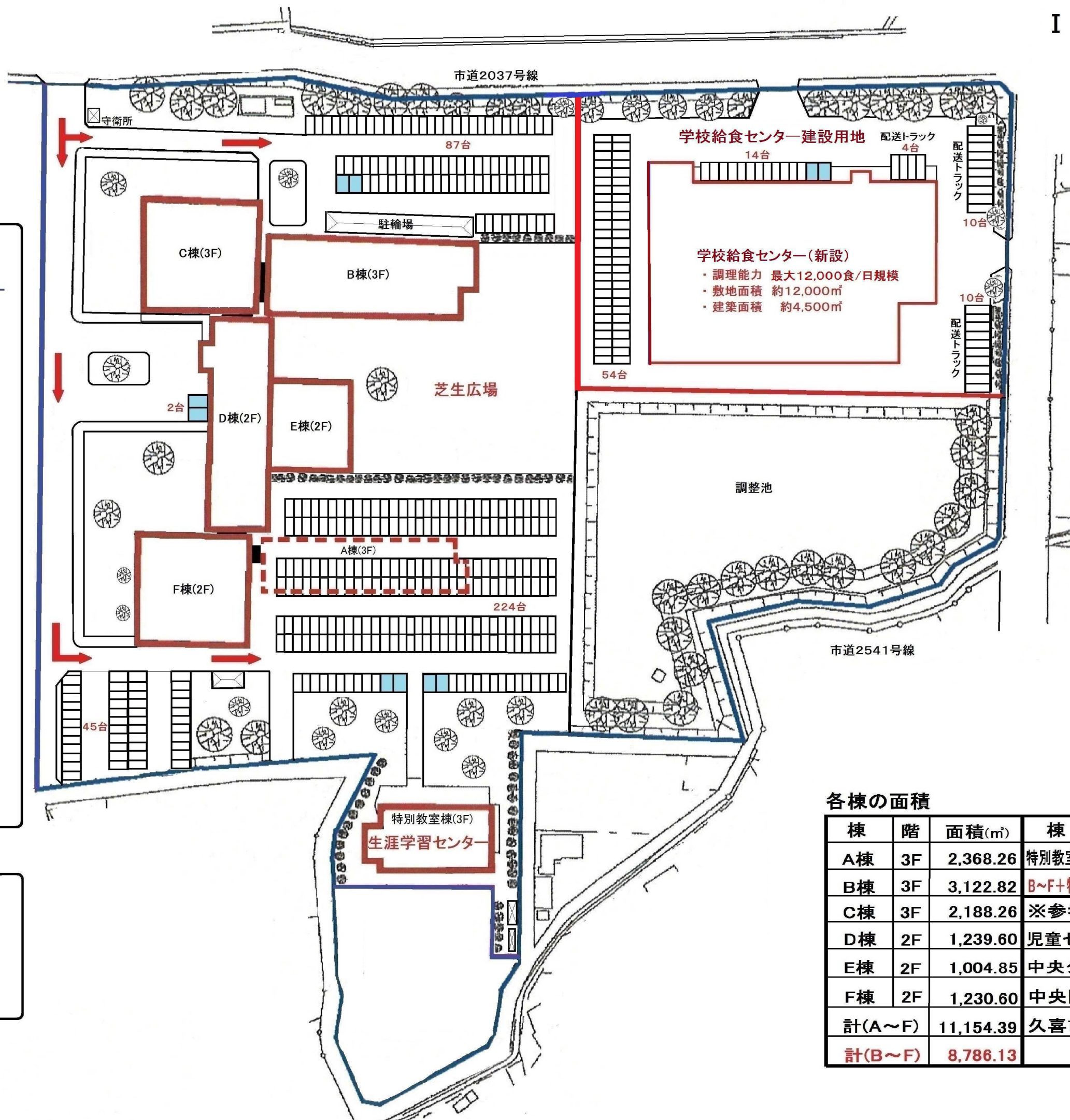
・D棟
1F … 教育委員会事務局
2F … 教育委員会事務局

・E棟
1F … こども図書館(教育委員会)
2F … こども図書館(教育委員会)

・F棟
1F … 市民ギャラリー
多目的ホール
シルバー人材センター
2F … 職員厚生室

久喜市生涯学習センター

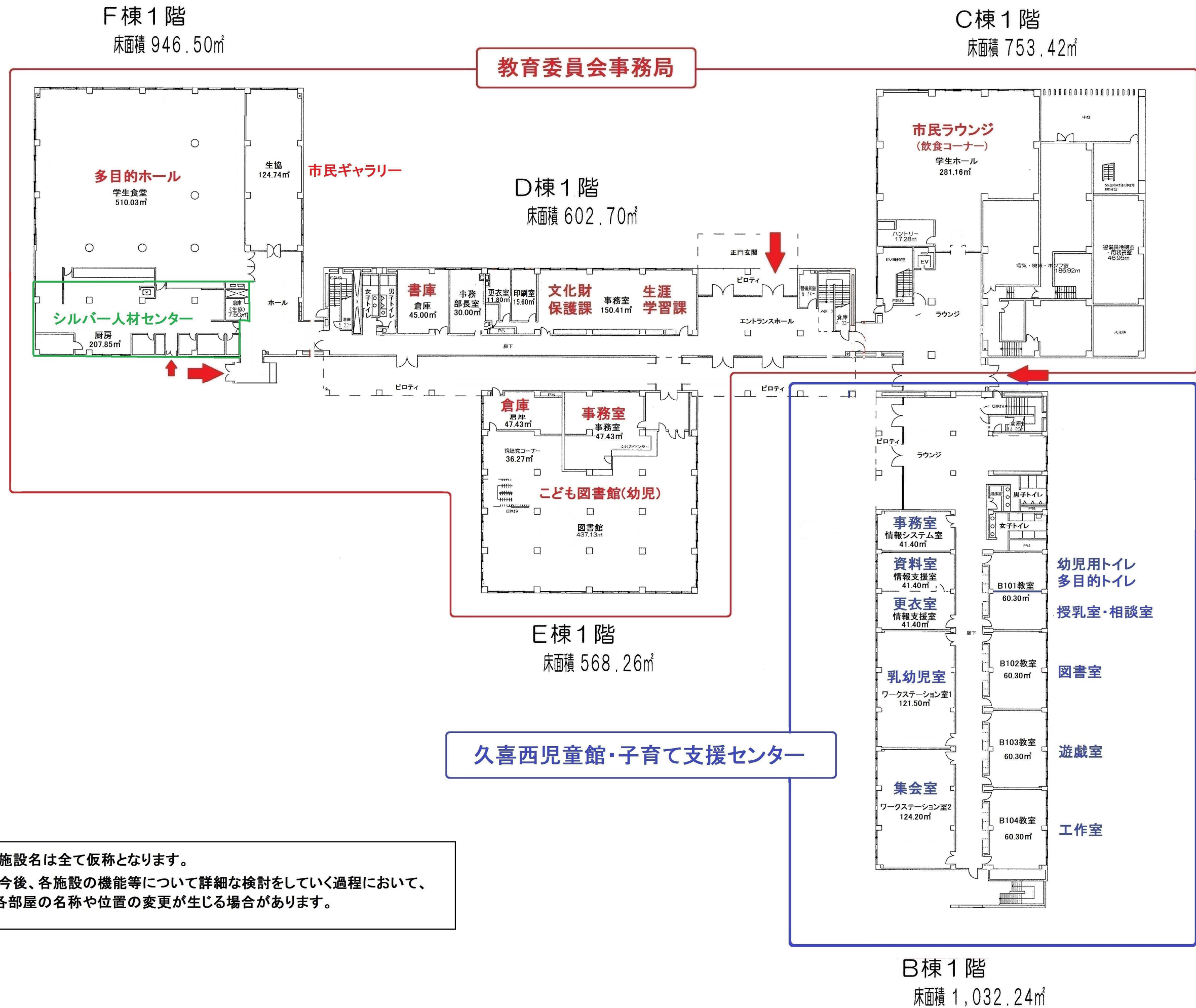
・特別教室棟
1F … 生涯学習センター(教育委員会)
2F … 生涯学習センター(教育委員会)
3F … 生涯学習センター(教育委員会)



各棟の面積

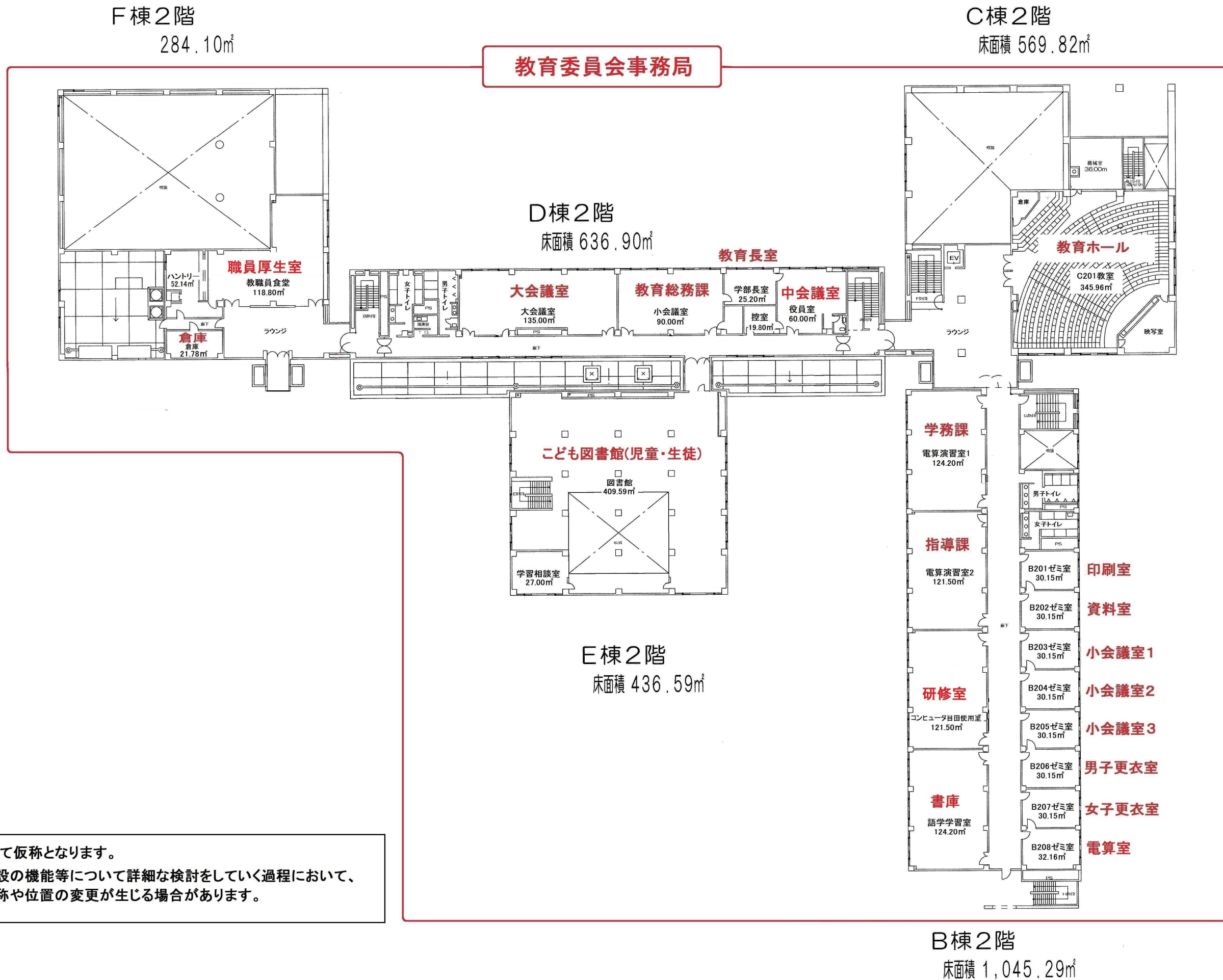
棟	階	面積(㎡)	棟	階	面積(㎡)
A棟	3F	2,368.26	特別教室棟	3F	2,337.75
B棟	3F	3,122.82	B~F+特別教室棟		11,123.88
C棟	3F	2,188.26	※参考		
D棟	2F	1,239.60	児童センター		550.80
E棟	2F	1,004.85	中央公民館		2,112.16
F棟	2F	1,230.60	中央図書館		1,283.06
計(A~F)		11,154.39	久喜市役所		7,570.97
計(B~F)		8,786.13			

II 校舎棟1階平面図



※1 施設名は全て仮称となります。

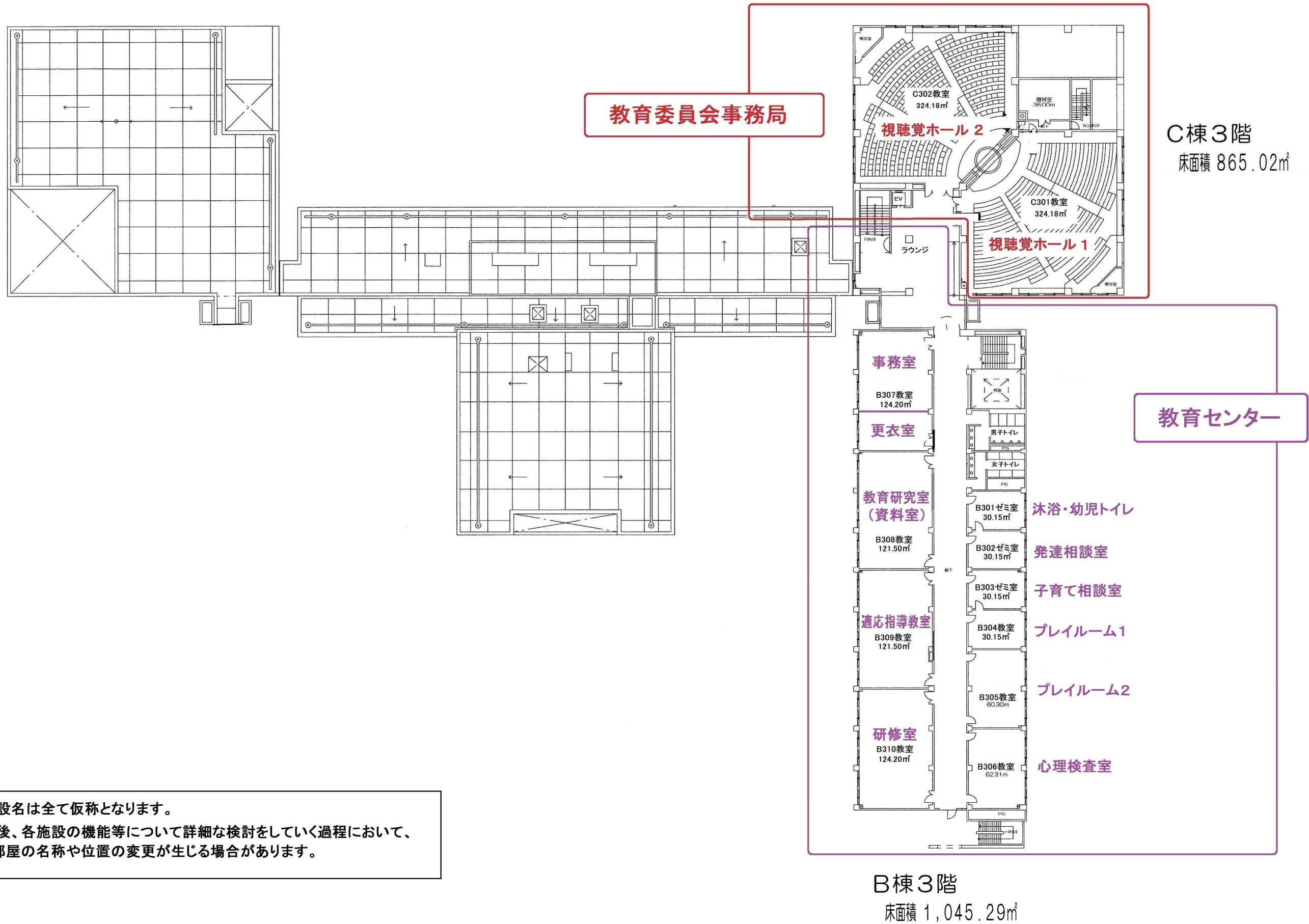
※2 今後、各施設の機能等について詳細な検討をしていく過程において、各部屋の名称や位置の変更が生じる場合があります。



※1 施設名は全て仮称となります。

※2 今後、各施設の機能等について詳細な検討をしていく過程において、各部屋の名称や位置の変更が生じる場合があります。

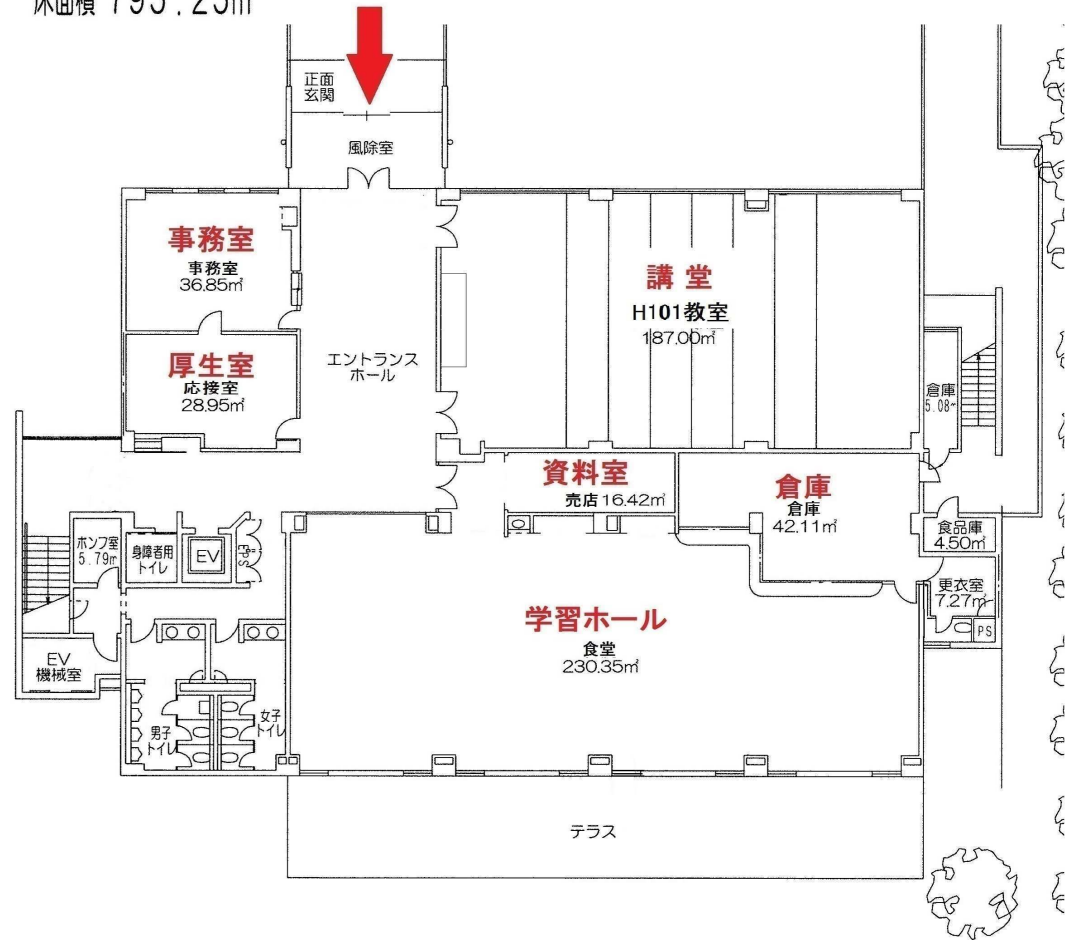
IV 校舎棟3階平面図



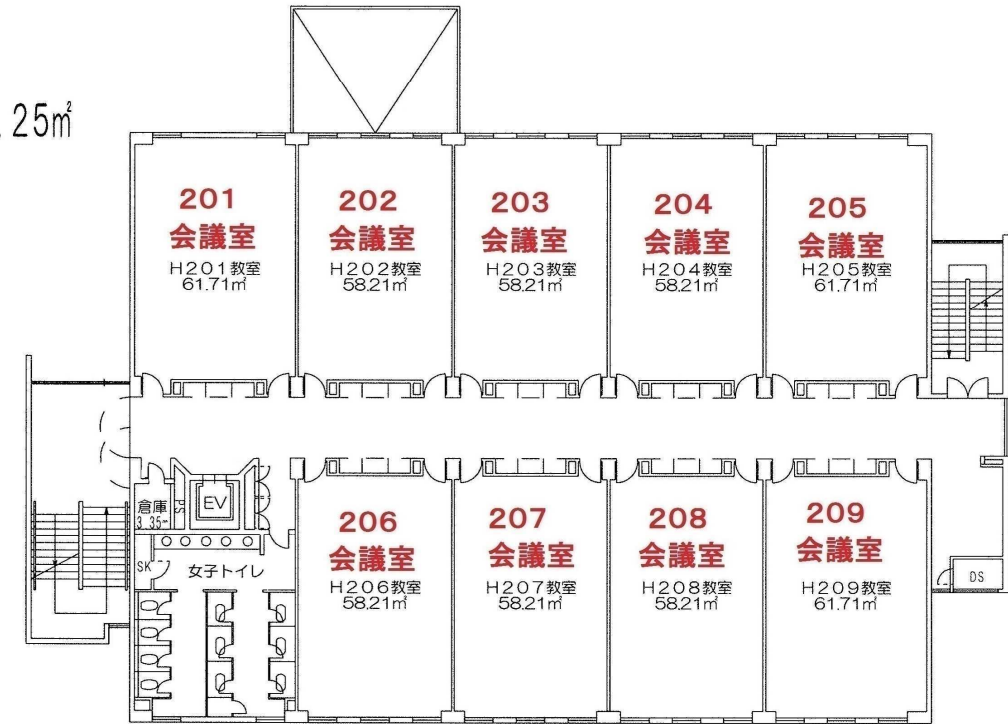
※1 施設名は全て仮称となります。
 ※2 今後、各施設の機能等について詳細な検討をしていく過程において、各部屋の名称や位置の変更が生じる場合があります。

生涯学習センター（教育委員会事務局）

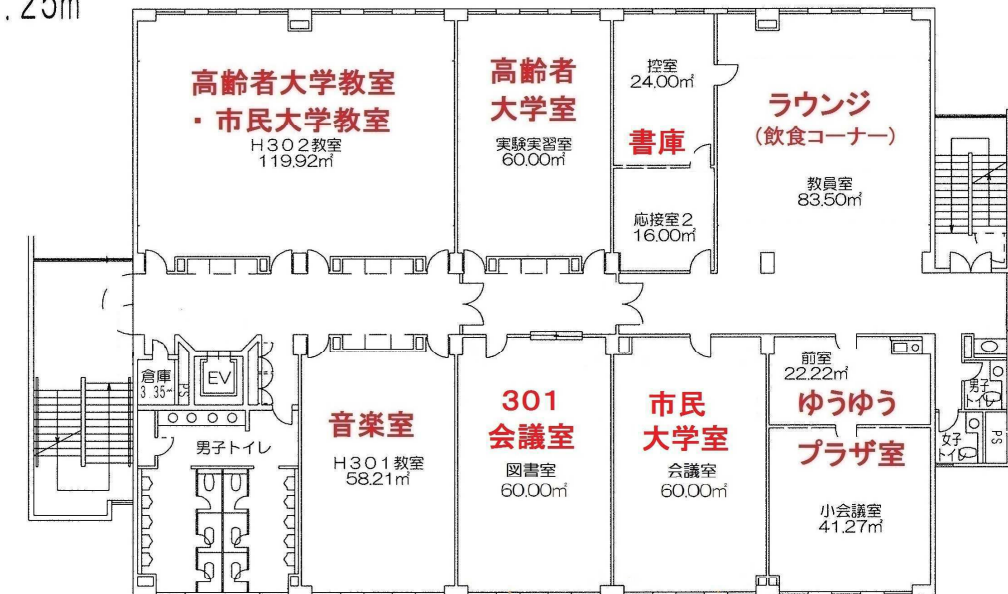
1階
床面積 795.25㎡



2階
床面積 771.25㎡



3階
床面積 771.25㎡



※1 施設名は全て仮称となります。

※2 今後、各施設の機能等について詳細な検討をしていく過程において、各部屋の名称や位置の変更が生じる場合があります。